

第 70 回全日本勤労者弓道選手権大会 石川県代表選考会

R5.4.1 (土) 於：石川県立武道館弓道場

4月1日午後から佐賀県多久市への2枚の切符をかけた戦いが繰り広げられた。開会式では水橋会長より、本大会は職域でチームを組んで頑張ってください、国体に並ぶ重要な大会であり、全日本に向けた代表チームを決める選考会である。本日は後悔しないように本番のつもりで、一本ごとに的中の要素を注ぎ込んで、心の乱れがない射を披露して、頑張っていたきたいと激励の言葉をいただき、競技が開始された。

出場チームは6チーム、競技方法は1チーム3名、近的競技、的中制（射距離28m、36cm 霰的使用）総的中数より上位2チームを県代表に選出する。

コロナ禍には見られなかった、家族やチームメイトが観覧席で見守る中、競技が始まった。



1回戦、三年連続の出場を目指す、金沢村田製作所が9中、期待の新戦力が加入し、7年ぶりの出場を目指す北國 FHD が8中と幸先の良い滑り出しに対し、県代表の独占を目指す、津田駒工業 A チーム、B チームが共に6中と的中が伸びない。



続く2回戦、金沢村田製作所が10中を叩き出し、合計19中で代表権をほぼ手中にし、北國 FHD は8中の合計16中となった。津田駒工業 B チームは伸びずに合計10中、最終立ちの津田駒工業 A も本来の実力が発揮できず、合計13中で万事休す。金沢村田製作所、北國 FHD が出場権を獲得した。

閉会式で会長からは、石川県代表ということで、全国の皆さんから注目されると思います。合同練習を行うなど、自分の力を十分に出し切れるように、稽古に励み臨んで欲しいとの言葉を受けて閉会となった。

参加チーム紹介



金沢村田製作所



北國 FHD



津田駒工業 B



津田駒工業 C



石川県庁



津田駒工業 A

成績

順位	チーム名	的中数
1位	金沢村田製作所 (足立・前川・前多)	19中
2位	北國 FHD (園・小寺・佐々木)	16中
3位	津田駒工業 A (堂前・咲川・牧野)	13中
4位	津田駒工業 B (奥平・榊田・角)	10中
5位	津田駒工業 C (中村・土橋)	5中
6位	石川県庁 (坂室・山田・後藤)	4中

「第70回全日本勤労者弓道選手権大会」に石川県代表として下記の2チームが出場。

令和5年6月16日～18日に佐賀県多久市で開催

代表チーム紹介

- ①県代表決定の感想 ②本日の結果分析 ③本大会へ向けての目標や課題 ④弓友に向けてのメッセージ



後列左より：足立・前川・前多（金沢村田製作所チーム）

前列左より：園・小寺・佐々木（北國フィナンシャルホールディングスチーム）

★株式会社 金沢村田製作所★

- ① メンバー3人の実力を発揮することが出来、昨年に続いて本大会に参加させていただけることになり、大変嬉しく思います。再稼働してからまだ3年ではありますが、メンバーにも恵まれ予選会を通過することが出来ました。予選会に参加された企業の皆さんの代表ですので、代表に恥じない弓を引いてきたいと思います。
- ② 肌寒い中での予選会となりましたが、くじ運にも恵まれ、立順が1番になったことで、他のチームの的中を意識せず、メンバーの一人一人が十分に実力を発揮できたのではないかと思います。
- ③ 昨年は、あと一本に泣き、決勝トーナメントに残ることが出来ませんでした。今年はコロナ前のルールに戻り、予選が1次予選、2次予選形式となるため、一立一立が大事になり、1本の重要性も高くなります。一立ごとに安定した的中を出せるよう意識し、今年は決勝トーナメントに残り、最終的に一つでも上の順位に上げられるよう結果を出していきたいと思います。
- ④ 勤労者大会ということで、職域登録をしている企業による大会であるため、一般の弓友の皆さんには馴染みの少ない大会ではありますが、良い結果を残すことで、皆さんの認知度を上げられるよう頑張ってきます。この予選会結果報告を見て気にかけていただけた方は、応援をよろしくお願いいたします。

★北國フィナンシャルホールディングス★

- ① 新戦力のおかげです。うれしいです。
- ② 練習量の差がそのまま結果に出ました。
- ③ 北國ハニービーに倣い全国制覇に向け、調整を行います。
- ④ 石川県の代表として試合日までテッペンを目指し努力します。